

◇デジタル胸部X線検診車の導入

— すこやか17号 —

当協会では、財団法人予防医学事業中央会を通じ、財団法人JKA競輪補助事業の助成を受けて、FPD（フラットパネルデテクター）方式による胸部デジタル検診車「すこやか17号」（写真）を導入いたしました。

FPD方式によるレントゲン撮影は、直接X線データを、検出器を用いてデジタルデータ化します。

このシステムにより、X線照射後即時に撮影画像を確認することができ、画像の画質をコンピュータ処理することで、コントラストに優れた鮮鋭度の高い表現力豊かな画像を得ることが可能です。このことで、低線量撮影による被ばく量の軽減、フィルム処理にもなう様々な化学薬品が不要になります。また、画像の拡大や白黒反転、過去画像の読み込み等デジタル装置特有のメリットが多々あります。

コンパクトなマイクロバス

サイズの為、一層の機動力を発揮して小回りのきく巡回ができるようになりました。

結核・肺がん検診、労働安全衛生法に基づく定期健康診断やじん肺・石綿検診等に、よりよい医療サービスを提供いたします。スタッフ一同、皆様の健康管理にお役に立てるよう日々研鑽を重ねております。

